

2016（平成28）年度

事業報告書

学校法人 大阪歯科大学

## はじめに

本学は、2016（平成28）年度において、教育、研究、臨床の発展充実、経営の効率化を目指した各種事業を推進した。

歯学部における学生の受け入れについて、広範な入試広報活動の結果、入学志願者の大幅な増加と実質入試倍率の前年度比増を達成した。

歯学部教育において、初年次教育の充実、オナーズ教育への注力、歯学系共用試験、臨床実習の成績の向上に向けて取り組み、前年度に引き続き「文部科学省私立大学等改革総合支援事業」に採択された。

そして、教育の重要なメルクマールである歯科医師国家試験については、新卒者合格率91.4%という好成績を収めることができた。また、歯科技工士・歯科衛生士国家試験においても前年度に引き続き好成績（合格率100%）を収めた。

国際交流については、グローバル大学に相応しい教員・学生研修派遣を展開した結果、参加者にとって多くの学術研究上の知見を吸収することができた。

大学院歯学研究科においては、第1学年の定員を上回る入学者を確保するとともに、大学院生の研究活動の活性化を推進した。

附属病院においては、その役割を自覚し医療の質の向上と経営効率化に向けて取り組んだ。

歯科衛生士・歯科技工士両専門学校の発展的改組転換に向けて、鋭意準備の結果、8月には4年制大学医療保健学部口腔保健学科・口腔工学科の設置認可を受けることができ、学生の受け入れ活動を行った。そして、現在この学部を基礎とする大学院医療保健学研究科（修士課程2年）の設置申請を行っている段階である。

## 沿革

- 1911 (明治44)年12月12日 大阪歯科医学校設立
- 1912 (明治45)年 1月14日 大阪歯科医学校開校式  
(創立記念日)
- 1917 (大正6年)年 9月 7日 財団法人大阪歯科医学専門学校設立  
9月25日 大阪歯科医学専門学校開校
- 1947 (昭和22)年 6月18日 大学令に基づく旧制大阪歯科大学設立  
(大学昇格記念日)
- 1952 (昭和27)年 2月20日 学校教育法に基づく新制大阪歯科大学設置認可
- 1961 (昭和36)年 3月31日 大阪歯科大学大学院歯学研究科(博士課程)設置認可
- 1964 (昭和39)年 4月17日 大阪歯科大学附属歯科技工士養成所  
(現・大阪歯科大学歯科技工士専門学校)開設
- 1968 (昭和43)年 5月 1日 大阪歯科大学附属歯科衛生士学校  
(現・大阪歯科大学歯科衛生士専門学校)開設
- 1997 (平成 9)年 4月 1日 楠葉学舎竣工、天満橋学舎附属病院竣工  
牧野学舎(体育・課外活動施設)と合わせて3学舎体制となる。
- 2011 (平成23)年11月11日 創立100周年記念式典挙行
- 2016 (平成28)年 8月31日 医療保健学部(口腔保健学科・口腔工学科)設置認可

## I. 教学（歯学部教育）の改革

大阪歯科大学は、教育基本法の規定する教育の一般的な目的と方針に則り、歯学に関する学術を中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の領野における学理技術を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させ、もって文化の創造と発展に貢献することを目的としている。

歯学部においては、教務部委員会による教学支援体制の充実を図り、建学の精神である「博愛」と「公益」に適う歯科医療人育成を目指し、様々な取り組みを行った。

### 1. 入学志願者増加への取り組み

本学は、アドミッションポリシーとして、「歯科医師として社会に貢献し奉仕する使命感と気概を持つ人」、「専門的知識、技能、態度を習得するために着実に努力する人」、「国際的視野に立って歯科医学の発展と歯科医療を担う熱意のある人」を掲げ、歯科医療を担う優秀な学生確保を目指した。

また、多様化する入試業務（学生募集の方法、入試広報の展開）に対応するため、新たな試みとしてアドミッションセンターを設置した。その人的配置は、アドミッションセンター長（副学長・教務部長兼任）と専任職員（課長1名、主任1名）であり、入試委員会による決定を受け、オープンキャンパス、高校訪問、高校生向け入試・入学説明会を積極的に展開した。

2016（平成28）年度には、このポリシーの改正を行い2018年度入試の指針とすることとしている。

オープンキャンパスについては、楠葉学舎で7月1回、8月各2回（うち1回は天満橋学舎）、9月1回、合計4回行われ、延べ参加人数は517名で過去最高であった。楠葉学舎でのプログラムは、入試概要説明、本学学生による講演、入試に向けてのポイント講座、体験実習、ミニ講義、キャンパスツアー、個別受験相談会を実施した。さらに、2015年度から始まった本学附属病院での入試説明会と院内ツアーは、82名の参加で好評であった。

また、春季と秋季に大阪、京都、兵庫、広島、岡山等の特設会場では、高校生対象の進学相談会を行い、入試状況最新情報とキャンパスライフ、歯科医師の将来展望などの情報提供を行った。

入試科目については、2017年度より推薦・一般入試において、英語の各種資格・検定試験（注）の結果に基づいて、一定の基準を満たしている場合は、「外国語（英語）」の受験を免除する試みも行った。

（注）英語の各種資格・検定試験について

GTEC for STUDENTS、GTEC CBT、TOEIC、TOEFL(iBT)、TOEFL(PBT)、実用英語技能検定 ※取得時期は問わない。

受験免除基準検定試験 スコア・級

GTEC for STUDENTS 600 以上 GTEC CBT 880 以上 TOEIC 502 以上  
TOEFL(iBT) 51 以上 TOEFL(PBT) 467 以上 実用英語技能検定 2 級以上となっている。

受験機会の複数化については、一般入試（前期日程）において、東京会場（駿台予備校お茶の水 1 号館）、福岡会場（代々木ゼミナール福岡校）の他、広島会場（広島 Y M C A 2 号館）を追加した。

入学試験成績優秀者特待生制度については、その充実を図り、優秀な学生の確保に努めた。一般入試及び大学入試センター試験利用入学試験における措置で、概要は以下のとおりである。

- ・ A 種（初年度学納金（入学金を除く）免除：515 万円、2 年次以降は授業料全額免除：380 万円×5 年、対象人数 1 名、2 年次以降は優秀な成績を維持することを条件）
- ・ B 種（初年度は学納金（入学金を除く）免除：515 万円（2 年次以降は在学中の学業成績優秀者に対し年間授業料から 100 万円免除）

以上のような取り組みにより、2017 年度入試の志願者は昨年度を大きく上回り、募集人員に対する実質競争倍率は 2 倍を超え、2017 年度新入生 128 名を充足した。

2011（平成 23）年度（2012 年度入試）から実施され第 6 回目となる編入学試験では、3 名が第 2 学年へ編入となった。

## 2. インスティテューショナル・リサーチ（IR）室の活動開始

2015 年 4 月から専任職員 1 名を配置して、教育、学生支援にかかわる情報の収集、分析、研究（教員業績を含む）にかかわるデータの収集、分析、データベースを利用したデータ収集及び検証並びにデータベースの整備、本学の計画策定、政策決定、意思決定業務等の支援等の活動を開始した。

2016 年度は、学生の生活実態調査や、授業への皆勤者調査、学業成績下位者に関するデータ集約等、教務部委員会への検討資料として提示した。

現在、学生情報データベースを構築中で、分析ツールを活用することで本学の学生支援体制を整備していくものである。

## 3. カリキュラムの展開について

本学は、ディプロマポリシーにおいて

- ①専門的知識、技能、態度を修得し、国民の健康な生活を確保する能力
  - ②汎用能力および危機管理能力をもち、絶えず研鑽を積む習慣
  - ③地球規模で新時代の歯科医学と歯科医療を構築する能力
- の 3 点を学生が修得すべき能力と位置づけ、これらを受けて、

カリキュラムポリシーにおいて

- ①知識、技能および人間性を具えた歯科医師の養成を行うカリキュラムを編成する。

- ②学生が意欲をもって学習でき、国家試験への備えとしても万全の科目を設ける。
- ③学生中心主義に基づき、学生と教職員とのふれあいの場を数多く設置する。
- ④患者さんへの思いやりや温かな心をもった歯科医師の育成に必要な教育を行う。

の4点を掲げている。

2016年度にはカリキュラムポリシー及びディプロマポリシーの改正を行い、修得概要、教育方法、学習成果の評価にわたる諸事項を定めることとしている。

本学歯学部は、特に態度教育科目で初年次教育に力を入れている。

「ODUソーシャルコミュニティ」は、態度教育科目の「コミュニケーション」の中で、第1学年から第4学年までの全学生が、学長及び教職員とともに枚方市の主催する環境美化活動であるアダプトプログラムに登録し、朝8時から楠葉学舎周辺の歩道での清掃及び通行する地域住民の方々に挨拶を行う内容となっている。学生の皆出席を義務づけ、欠席者には予備日に振り替えて実施することとしている。参加態度はもちろんのこと、経済産業省・社会人基礎力診断から総合的に成績評価を行うとしている。従来からの第1学年次の人権論、早期臨床体験学習、社会福祉施設体験学習は引き続き学生の態度教育の柱として十分機能している。

2016年度から新設の「現代教養」では、マナー指導、学習態度の確立、プレゼンテーション能力などを通して、歯科医師として必要な素養と思考力、判断力、表現力など様々な状況に臨機応変に対応、解決できる能力を養うことを目的にしている。その中では、漢字検定準2級を第1学年全員に受検させることやオナーズ教育として、TOEICを受験させることによる語学力の向上を目指した。

第3学年次の「研究チャレンジ」は、生涯を通じて「なぜ」、「どうして」という研究マインドを学生に涵養することを目的にしており、SCRIP（ステューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム）もしくは専門学術大会での成果発表を目指した。

第4学年では、全国共用試験歯学系CBTを臨床実習へ至る前の重要な試験として、指導体制を強化してその成績が格段に向上した。

2016年度から、第5、6学年に加え第4学年も学生教育支援システムとしてDESSモバイルの導入を行い、自学自習を行えるようになった。

また、第4学年にクリッカーを設置し、アクティブラーニングを実施できる体制の整備を図った。

第5学年においては、臨床実習必携を整え学生に配付し、学修の徹底を図った。患者中心型診療システム（POS：Patient Oriented System）に基づいて検査、診断、治療計画にいたる情報収集と基本的歯科診療技術の訓練を行っている。そして、臨床知識試験（年間5回実施）、臨床実習終了時試験を実施して

いる。臨床実習の合格基準は、診療参加経験数、観察記録による評価、臨床実習終了時試験の合格、講義出席率80%以上である。また臨床知識試験の合格基準は平均得点率65%以上である。

臨床実習の完了と臨床実習終了時試験、臨床知識試験の合格をもって歯科臨床教育の単位40単位を修得できる。これらはいずれも進級要件である。

第6学年は、昨年度と同様に学士試験と本学指定の模擬試験により、成績の向上に努め、また既卒者に対してもきめ細かな指導を行った結果、第110回歯科医師国家試験の合格率は新卒者(91.4%)、既卒者(55.7%)となり、共に全国平均を超えた。

特に新卒合格率は、国公私大29校中で第5位であり、新卒・既卒を合わせた合格者数は全国でトップであった(118名)。

施設・設備の整備として、楠葉学舎第4実習室実習用顕微鏡の段階的更新、第7、第8実習室歯科技工用モニターの取替え、第8実習室技工機のTVモニター更新、第5大講義室AV機器システム交換を行った。

#### 文部科学省・私立大学等改革総合支援事業

本学は、2016(平成28)年度の上記支援事業に申請し、タイプ1の「建学の精神を生かした大学教育の質向上(教育の質的転換)」に採択された。

この事業は、私立大学が行う様々な改革の全学的な取組に対し支援するために実施されるものである。本学は昨年度に引き続き採択されたもので、これにより貴重な外部資金である私立大学等経常費補助金(一般補助・特別補助)の増額措置が行われた。

#### 学生生活指導体制

本学の学生生活指導は、各学年の指導教授、助言教員、特別アドバイザー、教育アドバイザー、大学院生のTAにより日々行われている。学生カルテを活用するとともに、学生には「学習ポートフォリオ」の作成を通じて自己成長を確認させ、適切な助言を図ることとしている。

朝の挨拶運動は、2015年度から教授を含めた全ての教員が輪番制で、楠葉学舎正門前に立ち、登学する学生に対して行っており、人間関係の基本である挨拶の重要性を認識させるとともに、学生と教員の信頼関係の構築にも役立つものである。

学生部委員会では、『学生生活ハンドブック』を作成し、全学年に配付している。その内容は、学生生活、学修案内、施設利用案内、諸規則、災害時の対応、学則等の学内関係規程などであり、本学歯学部の基本ルールが理解できるようになっている。

2016年5月11日午前9時から「薬物乱用防止講演会」が、第1学年を対象に、大阪府警、枚方署から各1名の講師を招き開催された。

「学生相談室」は、楠葉学舎と天満橋学舎において、専門の臨床心理士(非

常勤3名)を置き、毎週月・火・金に学生・教職員等の相談を行っている。原則予約制で、予約専用電話又は医務室が受け付けている。

### 学生スポーツの振興

1968年から始まった全日本歯科学生総合体育大会(歯学体:オールデンタル)は、国公私立歯科大学・歯学部29校の体育系クラブが参加するスポーツ祭典である。この第48回大会(当番校:東京医科歯科大学)が8月1日から12日まで開催され、本学は総合で4位であった。

2016年7月、学生の課外活動の振興を図ることと、牧野学舎整備計画の一環として、新たにクラブハウスを建設した。各クラブ室のほか、ミーティングルーム、シャワールームが完備されている。

### 【国際交流】

国際交流は、新たな交流協定締結があった他、交流協定提携校を中心に学生、教員の派遣と受入が下記の日程で実施された。

- ・中国・山西医科大学と学生交流協定を締結した(2016年8月16日付)  
(15校目の提携大学)

- ・コロンビア大学歯学部100周年インプラントCEセミナー2016  
(2016年7月11日~14日)

川添理事長及び本学関係者28名が参加した。セミナーは、コロンビア大学の講師陣によるレクチャーや、オペ見学など多彩なプログラムで開催され、参加者相互で活発なディスカッションが行われた。

- ・中国・四川大学華西口腔医学院との共同研究(歯科保存学講座)

- ・海外協定校との学生交流

[受入(2016年7月31日~8月6日)]

南方医科大学口腔医学院(学生5名、教員1名)、北京大学口腔医学院(学生5名、教員1名)、台北医科大学口腔医学院(学生3名、教員2名)、山西医科大学口腔医学院(学生4名、教員1名)特別講義(英語での講義)、天満橋学舎附属病院、外部歯科診療所を見学した。

[派遣]

四川大学華西口腔医学院インターナショナル・サマーキャンプ(2016年7月3日~15日)

本学第5学年2名が参加し、同大学口腔医学院での講義、実習、病院・教育研究施設見学や同大学主催の口腔技能試験を受験した。他に日本から日本歯科大学の学生が参加した。(他にアメリカ、オランダ、タイの各1大学からの参加)  
(引率教員:准教授1名)



北京大学口腔医学院（2016年7月23日～29日）

本学第2学年1名、第3学年2名が参加し、病院での診療見学、大学での特別講義を受講した。  
(引率教員：講師1名)

台北医科大学口腔医学院（2016年7月23日～29日）

本学学生2名（第2学年1名、第4学年1名）が参加した。現地では、大学講義室、実習室の見学、病院診療科における実際の診療の見学が行われた。  
(引率教員：講師1名)

シドニー大学歯学部（2016年8月13日～22日）

学生5名（第3学年4名、第4学年1名）が研修プログラムに参加した。  
(引率教員：講師1名)

コロンビア大学歯学部（2017年3月11日～21日）

学生7名（第5学年）が研修プログラムに参加した。  
(引率教員：准教授1名)

## 【社会連携・社会貢献】

### ・枚方市との連携事業への参画

枚方市と枚方所在の5大学との地域連携を図るため設置されている「学園都市ひらかた推進協議会」の第17回目会合が、2016年5月30日に関西外国語大学において開催された。協議会では「中高生を対象とした大学体験事業」、「こども大学探検隊」、「ひらかた市民大学」などの生涯学習講座について、これらを実施していくことが確認された。

本学においては、下記の連携事業が開催され、地域に開かれた大学として市民に開放した。

[中高生を対象とした大学体験事業]（2016年8月21日）

楠葉学舎において、「リアル歯科大を体験しよう」と名付けて、キャンパスツアーやミニ講義、体験実習などを行い、本学の魅力をアピールした。（受験生向けオープンキャンパス2016と併催）

[こども大学探検隊]（2016年10月29日）

楠葉学舎において、本学学生有志が運営スタッフとなり、ミニ講義、参加者の体験実習（指模型の作製実習）などが行われ好評であった。（本学楠葉祭（文化祭）と併催）

[ひらかた市民大学]（2016年11月26日）

楠葉学舎大学院講義室において、本学教員が「歯の大切さを学ぼう～お口を健康に、そして元気な老後へ」をテーマに講演を行った。

さらに、枚方市が推進するもうひとつの連携事業である「健康医療都市ひら

かたコンソーシアム」については、今年度は、本学公開講座と共催事業として開催された。

また、本学は、2020年開催の東京オリンピック・パラリンピックに対する大学連携協定を締結しており、学内教職員・学生への周知を図るなどのPR活動を継続的に行っている。その関連で、枚方市の要請により、枚方市青少年育成指導員連絡協議会主催の市民啓発事業「パラリンピック銀メダリスト・山本 篤選手 講演会」の会場として、楠葉学舎講堂を提供し、多数の市民に開放した（開催日：2017年3月4日）。

#### ・第24回大阪歯科大学公開講座

本学の恒例事業となっている公開講座を「めざそう健康長寿：QOL向上に直結する口腔ケア」のメインテーマで、外部機関から1名、本学教員1名が講師を務め開催した。

天満橋（9月3日、10日）・楠葉両講座（2月18日、25日）の延べ受講者は680名を得て好評であった。なお、1993年度第1回から今回までの延べ受講者数は、25,018名である。

サブテーマ	天満橋講座 受講者数	枚方講座 受講者数
元気になる口腔ケアのすすめ ～健口から健康生活へ～	130名	212名
口腔ケアが肺炎予防に！！	120名	218名

#### ・セレッソ大阪スポーツクラブとの連携研究協定締結

2016年2月に本学は、一般社団法人セレッソ大阪スポーツクラブ（代表理事・宮本 功氏）と連携研究協定を締結したが、口腔環境とフィジカルパフォーマンスとの関連を明らかにする目的で、次年度に向けて具体的な取り組みを検討している。内容としては、本学附属病院各診療科の協力でセレッソ大阪所属選手の歯科検診を実施することとしている。

#### ・高大連携の取り組み

・2016年9月30日、大阪聖母女学院中学校・高等学校（現・香里ヌヴェール学院中学校・高等学校）と本学は、「教育の連携協力に関する協定」を締結した。高大連携による次世代を担う人材の育成が課題となっているが、本学も高大接続を推進することとなった。

協定内容は、（1）教育に対する相互支援、（2）生徒・学生の相互交流、（3）教員の相互交流、（4）その他協議し同意した事業、（5）協定に基づく推薦入学試験の実施 であり、次年度に向けて具体的な高大連携プログラム（スーパーサイエンスコース：高校生向けの講義等）の取り組みを検討している。

## Ⅱ. 大学院の改革

大阪歯科大学大学院歯学研究科は、大学院生に歯学に関する学術の理論及び応用を教授研究し、その深奥を究めて文化の進展に寄与するとともに、大学院生を当該専攻分野に関する高度の研究指導者に養成することを目的としている。そして、入学者受け入れ方針（アドミッション・ポリシー）、教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）、学位授与方針（ディプロマ・ポリシー）を定めている。

### 1. 大学院生の入学者増加計画、外国人留学生、大学院教員の増強等

2017年度入試では、定員30名の中、36名の入学者を確保した。

このうち、中国からの外国人留学生入学者の5名をはじめ、2016年度から実施した社会人特別入試は、入学者が7名となり、好調な状況となった。

また、歯科基礎系専攻への志望者を確保する観点から、授業料の半額免除制度を継続し、この制度を利用して3名の基礎系志願者が入学した。

大学院生には、海外での研究発表を積極的に推進しているが、2016年度は14件あり、これに対して研修費として助成（助成総額：117万1000円）を行った。さらに大学院生の研究14件に対しても学術研究奨励助成金として総額で250万円の助成を行った。

文部科学省インターンシップへ大学院生が応募し採用されたので、これについても研修費を支給した。

### 2. 大阪歯科大学学術リポジトリの開設と教育研究業績の公開について

文部科学省が推進する学術情報の公開については、すでに2015年度から大学院ホームページに、課程博士（甲）、論文博士（乙）の区分ごとに全学位授与者の「学位記番号」「氏名」「論文題名」「授与日」「論文要旨」等閲覧できるようにしていた。

その後、2016年8月1日から新たに上記リポジトリを開設し、学位論文内容要旨及び審査結果の要旨は学位授与後3ヶ月以内に、また、学位論文全文は、学位授与後1年以内に掲載することとしている。

また、『大阪歯科大学教育研究論文目録』を刊行し、関係機関や国立国会図書館などの公的機関に配付するとともに、本学ホームページ（大学トップ>6年間の学び>研究室紹介）に掲載している。

### 3. 研究不正行為防止及び公的研究費の管理について

文部科学省の「研究活動における不正行為への対応等に関するガイドライン（平成26年8月26日文部科学大臣決定）」に基づいて、その徹底を図った。研究倫理委員会は、今年度3回開催し、研究倫理教育として、「研究倫理講習会」を2016年10月7日、2017年2月24日開催した。

規程の整備については、「大阪歯科大学における研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程」を2017年2月23日に改正し、さらに新たに「大

阪歯科大学における研究データ等の保管等に関する申し合わせ」を2017年2月23日に制定した。

公的研究費についての管理については、文部科学省の「研究機関における公的研究費の管理・監査のガイドライン（実施基準）」に基づき、毎年度チェックリストを、主任教授会、監事の確認後に同省へ提出している。

医の倫理委員会関係では、「人を対象とする医学系研究に関する講習会」を4月1日、11月2日の2回開催した。

#### 4. ティーチング・アシスタントの採用について

学部学生に対する教育補助として18名の採用を行った。これに採用された大学院生は手当が支給されており、ティーチング・アシスタント勤務実績報告書の提出を義務づけている。

#### 5. リサーチ・アシスタントの採用について

日本私立学校振興・共済事業団の学術研究振興資金による研究によりリサーチ・アシスタント（大学院生の研究補助者）1名を採用した。

#### 6. ポスト・ドクトラルフェローの採用について

平成24年度から継続して大学院教員の増強を行った他、講師（非常勤）についても補充を行った。ポスト・ドクトラルフェローについても2名を採用した。

### Ⅲ. 附置施設の活動

本学には、共同利用の附置施設として図書館、中央歯学研究所、教育情報センターがある。

#### 【図書館】

本学図書館は、楠葉学舎に本館、天満橋学舎に分室を置き、利用サービスの充実を図った。（2017年度より牧野学舎（医療保健学部）に分室が新設）

教育研究活動及び学生の自学自習のために必要な図書、学術雑誌、電子媒体を備えている。

- 
- ・蔵書冊数179,768冊
  - ・所蔵冊子雑誌タイトル数2,219冊（和書・洋書等の合計）
  - ・電子ジャーナル4,862（タイトル数、購入のみ:日本語・外国語の合計）

従来から行っている試験期等の期間を定めての休日特別開館、情報提供サービス（医学中央雑誌 Web 版、電子ジャーナル等）の他、2016年8月から学内向けに図書館メールマガジンの配信を開始した。

#### 【中央歯学研究所】

口腔科学分野に必要な10の実験施設と中央材料室があり、単独の講座・教室で維持することがむずかしい実験機器を多数設置し、本学の研究の中核

施設として役割を担っている。教育研究用機器備品の整備（全自動ウェスタン We s、顕微鏡 LSM700 デジタルカラーカメラ）、『中央歯学研究所報第 8 号』を刊行し、学内配付とともに国立国会図書館に送付した。中央歯学研究所講演会を、9 月 21 日、1 月 18 日、2 月 15 日の合計 3 回開催した。

#### 【教育情報センター】

本学におけるネットワーク機器更新・交換、ソフトウェアのバージョンアップ、既存インフラの維持及び運営管理に努めている。

ODU ネット（大学系システム、病院系システム）の運用管理を行った他、牧野学舎（2017 年 4 月開設の医療保健学部のメインキャンパス）における LAN 設備敷設工事について、運用環境の整備を行った。

### IV. 教員人材の整備

#### 1. 教員選考関係規程の見直し

2016 年 8 月の本学医療保健学部設置認可に伴い、次年度からの教員関係諸規程（選考、定員、選考基準）の見直しを行った。また、2017 年度より本学附属病院において診療を担当する教員として新設する「診療系教員」の関係規程の整備も合わせて行った。

規程名	改正・制定の要点
学校法人大阪歯科大学教員の定員等に関する規程	医療保健学部教員の定員
大阪歯科大学教員選考規程	医療保健学部教員の選考方法等の新設
大阪歯科大学教員任用規程	医療保健学部教員の選考基準の新設
学校法人大阪歯科大学管理運営規則	学部長、学科長の新設
大阪歯科大学診療系教員選考規程	診療系教員の選考基準・方法

#### 2. 教員の資質向上への取組

ファカルティデベロップメント（FD）セミナーについては、下記の内容で外部講師を招聘するなどし、10 回開催し、積極的に実施した。

#### 【2016 年度 FD セミナー一覧】

- 第 1 回 4 月度 開催日時：4 月 25 日（月）17：00～18：00  
演題：「CBT 問題公募要領と問題作成のポイント」出席者数：教職員 130 名
- 第 2 回 5 月度 開催日時：5 月 9 日（月）17：00～18：00  
演題：「CBT 視覚素材採択に向けた講習会」出席者数：教職員 127 名
- 第 3 回 6 月度 開催日時：6 月 5 日（日）9：30～16：15  
演題：「歯学系 CBT 問題作成についてのワークショップ」出席者数：教員 30 名（指名制）
- 第 4 回 6 月度 開催日時：6 月 24 日（金）17：00～18：00  
演題：「診療参加型臨床実習について考える」出席者数：教職員 135 名
- 第 5 回 7 月度 開催日時：7 月 4 日（月）17：00～18：30  
演題：「日本とアメリカの歯科教育及び歯科医療の共通点と相違点」出席者数：教職員 151 名

●第6回 9月期	開催日時：9月29日（木）17時～18時30分
演題：「歯科からの食育」～未来の大人たち、未来の子どもたち、そのまた未来の子どもたちのために～	出席者数：教職員 182名
●第7回 10月期	開催日時：10月13日（木）17時10分～18時40分
演題：「発達障がい・学習障がいを持つ学生の見極め（発見）とその指導（対応）」	出席者数：教職員 174名
●第8回 11月期	開催日時：11月10日（木）17時10分～18時40分
演題：「学生指導における共感的な関わりのコツ」	出席者数：教職員 168名
●第9回 11月期	開催日時：11月28日（月）17時～18時30分
演題：『アクティブラーニングで教える』という誤解を考える	出席者数：教職員 140名
●第10回 2月期	開催日時：2月13日（月）17時から18時30分
演題：歯科教育におけるeラーニング教材の作成	出席者数：教職員 132名

## V. 外部資金の獲得状況による教育研究の進展

平成29年度文部科学省科学研究費助成事業への申請及び採択件数の増加のための説明会を10月3日、10月4日の2回開催した。

平成28年度の科学研究費を含む外部資金の獲得状況は以下のとおりであった。

### ○平成28年度科学研究費補助金（新規＋継続）

基盤研究（B）	2件
基盤研究（C）	38件
挑戦的萌芽研究	5件
若手研究（B）	16件
研究活動スタート支援	1件
合計	62件
補助金交付額	7670万円（間接経費2301万円）
合計	9972万円

### ○平成28年度私立大学等経常費補助金

（日本私立学校振興・共済事業団）

3億8529万9000円（一般補助＋特別補助＊）

（内、32,497,000円は、私立大学等改革総合支援事業）

#### \*特別補助の内訳

・大学等の国際交流の基盤整備

（海外からの学生の受入れ、海外からの教員の招へい、学生の海外派遣、教員の海外派遣、大学等の教育研究環境の国際化、実践的な語学力の習得や国際理解の推進）

・大学院等の機能の高度化（大学院における研究の充実（女性研究者支援）、研究

施設運営支援（中央歯学研究所）

- ・授業料減免及び学生の経済的支援体制の充実（卓越した学生に対する授業料減免等（本学特待生制度）
- ・私立大学等改革総合支援事業（タイプ1 教育の質的転換）

○平成28年度学術研究振興資金（日本私立学校振興・共済事業団）

1,900,000円

○平成28年度厚生科学研究費補助金（厚生労働省）（分担）1件

100,000円

○難治性疾患実用化研究事業（分担）1件

（国立研究開発法人日本医療研究開発機構（AMED））

4,862,000円（直接経費442万円、間接経費44.2万円）

## VI. 附属病院の財務改革

本学附属病院では、患者の方々への診療を通じて歯科医学の教育研究を達成するとともに、地域社会に貢献することを目的としている。その達成のために、「病院理念」においては、「患者さんの病に共感し、あたたかい医療を提供する」ことを理念とし、安全・安心な医療に努めること、良質で高度な先進的医療の提供、人権を尊重し、公正な医療を行うこと、人間性豊かな、優れた医療人の育成を基本方針としている。

2016年度も引き続き、地域歯科医療の中核として、地域住民の方々へ高度な歯科医療を提供するとともに、学生教育（臨床実習）、研修歯科医師の研修の場として、歯科大学附属病院に与えられた使命を果たす取り組みを行った。

医療機器の更新については、今年度は高圧蒸気滅菌装置（クリーンスチーム仕様）及び純水製造装置、マルチカラーレーザー光凝固装置、パノラマX線撮影装置、チェアユニット、電動リモートコントロールベッド、輸血用検査機器について行った。

天満橋学舎附属病院の建物（設備も含む）については、南館が1960年、西館が1973年、本館が1997年の建設であり、建物の補修、設備の取替えを計画的に行った。

### 1. 附属病院組織改革委員会の取り組み

2016年4月から、理事会のもとに、法人関係委員会である附属病院組織改革委員会（以下「改革委員会」）を設置し、患者数増加を第一の目標として取り組みを行った。

改革委員会では、検討資料として毎月の来院患者数目標達成状況を確認するとともに、附属病院全診療科長（臨床系講座主任教授、診療科責任者）が出席する病院運営委員会において、上記資料をフィードバックすることによ

り、診療科主体の経営改善の重要な資料とした。

さらに改革委員会では、

- (1) 全診療科の土曜開院
- (2) 附属病院の診療室再編成（本館・南館2階の診療室の再編）
- (3) 医科歯科連携の推進
- (4) 歯科救急外来の設置
- (5) スペシャルニーズ部門の新設
- (6) 病院事務管理体制の見直し

などの提案がなされ、次年度に向けて鋭意実施に向け取り組んでいくこととなった。

また、附属病院で診療に携わる医員として、「診療系教員」を置くことを決定した。所属については附属病院当該診療科であり、研究歴、科学研究費申請などの処遇については別途規程を定めた。

なお、この関連で、2017年度から新たな診療科として口腔リハビリテーション科を開設することとなり、総合診療・診断科はそれぞれ総合診療科、口腔診断科となった。

## 2. 2016年度患者数・医療収入等

2016年度の医療収入については、19億5272万4722円であった。

同じく外来患者数については、24万6245人、一日平均1006.9人であった。（平日の開院日数241日、土曜日診療は開院日数48日で初診・再診を合わせ4729人、一日平均98.5人であった。）

## 3. 完全電子カルテ化の検討

病院情報システムを導入して1年を経過している。完全電子カルテに向けてヒアリングを行い実施に向けて検討している。

## 4. 歯科医師の派遣、訪問歯科診療

社会福祉法人阪神福祉事業団センター診療所、日本放送協会（大阪放送局）への医員派遣を行った他、訪問歯科診療としては、国家公務員共済組合大手前病院、関西電力病院において実施している。関西医科大学天満橋総合クリニックからMRIの特殊検査依頼を受け付けている。

## 5. 歯科医師臨床研修

2016年度の修了者は106名で、前年度より18名増加であり、研修歯科医受入施設は43施設であった。臨床研修費等補助金は、昨年度より1091万円増の8350万6000円であった。

下表は、2012年度から2016年度までの本学の研修歯科医受入人数の推移である。本学附属病院の受入定員は160名であるため、受入実績人件費、労力軽減の観点から2017年度は定員削減について検討する。



■ 本学研修歯科医受入人数の推移

(人)

	2012年度	2013年度	2014年度	2015年度	2016年度
単独型	28	32	22	18	22
複合型	74	84	68	70	84
合計	102	116	90	88	106

6. 病診連携講演会・懇談会

例年行われている病診連携講演会・懇談会は、2016年度で14回目を迎え、2017年2月25日に「外科的矯正治療に係る矯正歯科と口腔外科との病診連携」として、紹介元医療機関及び本学教員で各1題を演題として講演した。

なお、他の医療機関から今年度本院へ紹介された新患者数は1万112人であった。

7. 地域医療連携

地域歯科医療の支援として、本年度も引き続きCT、MRI、コーンビームCT及び病理組織検査について、地域の歯科診療所の先生方に利用されている。「大手前病院・大阪歯科大学附属病院協力医療機関定例連絡協議会」を3ヶ月に1回開催している。また、施設基準「感染防止対策加算2」の届出に当たっては、要件となる院内感染防止に係る病院との連携を大手前病院との間で締結している。同様に大手前病院と連携しているコープ大阪病院と共に年4回の合同カンファレンスを開催するなど、院内感染防止の向上に努めている。

8. 院内感染対策講習会、医療安全講習会、医療機器安全管理講習会等の開催

2016年度は下記の日程で開催され、多数の教職員が受講した。

・院内感染対策講習会

4月28日「医療従事者がうつさない、うつされないためのワクチン接種の重要性」

5月10日「歯科診療におけるスタンダードプリコーション」

6月16日「一般歯科診療時の感染対策～手指衛生とPPEを中心に～」  
他8回開催

・医療安全講習会

7月25日「組織全員で取り組む患者安全～患者安全を祈りから行動へ～」  
他8回開催

**VII. 医療保健学部の展開**

1. 設置の経緯・趣旨

2015年9月24日の第922回理事会において、本学歯科技工士専門学校・歯科衛生士専門学校の4年制大学（新学部：医療保健学部）への改組転換

が議決された。その後、学部名称を医療保健学部、学科名称を口腔工学科、口腔保健学科と定め、文部科学省への申請手続きを行い、カリキュラム編成、教員の人的配置等を検討し、理事会、教授会、評議員会の議を経て、最終的な学部申請書類を提出し、2016年8月31日付で文部科学大臣から大阪歯科大学医療保健学部の設置認可書、学校法人大阪歯科大学寄附行為変更認可書が交付された。

大阪歯科大学医療保健学部口腔保健学科・口腔工学科は、超高齢社会が必要とする優れた歯科医療人を養成し、口腔の健康を通じて国民が健康で安心して暮らせる社会づくりに貢献することを設置の趣旨とし、以下のアドミッションポリシーを策定した。

医療保健学部が求める学生は、「思いやりの心を持ち、人と温かく接して協調性とコミュニケーション能力に優れ、医療と福祉に高い関心と学習意欲を持ち、社会に貢献できる医療人となるための絶え間ない学習と努力ができる者」とする。各学科においてのアドミッションポリシーは以下の通りである。

#### 【口腔保健学科】

口腔の健康に寄与するためには、自己管理ができることが必要である。また、多職種連携のためには協調性が重要である。さらに、歯科医療の発展のために独創性がある発想を持つことが必要であり、口腔保健学科として次のような学生を求める。

- ・ 口腔保健学を学ぶに当たり、十分な基礎学力を有する者  
特に「外国語(英語)」、「数学」、「国語」及び「生物」について高等学校校までに履修した、教科書レベルの基礎的な知識を有する者
- ・ 既存の概念にとらわれず、知識や技術への旺盛な探究心を持ち、向上に取り組む志を持つ者
- ・ 他者の話を聞き、協調して問題に取り組める者
- ・ 自己の健康管理ができる者
- ・ 人の健康の維持と増進に貢献する意欲がある者
- ・ 口腔の衛生管理に強い関心がある者

#### 【口腔工学科】

口腔の健康に寄与するためには、自己管理ができることが必要である。また、多職種連携のためには協調性が重要である。さらに、口腔装置の製作技術に優れ発展させるためには科学技術への関心と開発への興味が必要であり、口腔工学科として次のような学生を求める。

- ・ 口腔工学を学ぶに当たり、十分な基礎学力を有する者  
特に「外国語(英語)」、「数学」、「国語」、「生物」、「物理」及び「化学」について高等学校校までに履修した、教科書レベルの基礎的な知識を有する者
- ・ 既存の概念にとらわれず、知識や技術への旺盛な探究心を持ち、向上に取り組む志を持つ者
- ・ 科学技術に関心がある者

- ・他者の話を聞き、協調して問題に取り組める者
- ・自己の健康管理ができる者
- ・人の健康の維持と増進に貢献する意欲がある者

## 2. 学生の受け入れ

上記のアドミッションポリシーに基づいて、担当教員とともに医療保健学部設置準備室では、2016年のオープンキャンパスを実施した。

第1回 6月19日(日)、第2回 7月23日(土)

第3回 7月24日(日)、第4回 8月12日(金)

第5回 8月21日(日)、第6回 9月18日(日)

参加延べ人数は、182名であった。

2017年度医療保健学部入学試験は、推薦入試、一般入試(前期・後期)、大学センター試験利用入試、推薦入試、特別入試の区分で実施され、その結果、口腔保健学科48名、口腔工学科10名の入学者であった。

## 3. キャンパスの整備

医療保健学部のメインキャンパスは、枚方市牧野本町の牧野学舎とし、既存校舎のリニューアル工事を行った。

1号館(医療保健学部基本棟)

1階 学部長室 応接室、保健室、女子ロッカー室、学部事務室  
倉庫、教授室、准教授室、講師室

2階 コンピュータ実習室、教授室、准教授室、講師室

3階 社会福祉実習室、第1セミナー室、第2セミナー室、  
第3セミナー室

2号館1階～3階 口腔保健学科 基本棟(講義室・実習室等)

3号館1階～3階 口腔工学科 基本棟(講義室・実習室・図書館)  
福利厚生棟 学内レストラン・書店(ミニコンビニ)

## 4. 医療保健学部関係規程、学生生活の指針等の整備

2017年4月の新入生授業開始を控え、履修規程等の関係規程や学生生活のためのルールを定めた冊子等の整備を行った。

- ・学則、履修規程、社会福祉士コース履修規程、各種委員会規程
- ・学生生活の指針(授業時間割、シラバス、学生生活ハンドブック等)

## 5. 大学院医療保健学研究科の設置申請準備について

医療保健学部を基礎とする大学院医療保健学研究科(修士課程:2年)を2018年4月に設置することを目途に設置申請の準備を行った。

同研究科は、高度な専門的知識と技能を持つとともに歯科医療の変革に応じられる歯科医療人、並びに歯科衛生士や歯科技工士の専門性を生かした研究を通じて歯科医療の発展に貢献できる人材を養成して歯科医療の発展と

人々の健康の増進に寄与することを目的としている。

## 6. 歯科技工士専門学校、歯科衛生士専門学校

歯科技工士専門学校は、特色ある歯科医療専門職教育を行い、2016年度国家試験の合格率は100%であった。また今期の歯科技工学科の卒業生の就職状況は、全員が歯科医院、歯科技工所への採用が決まり100%の就職率であった。

歯科衛生士専門学校は、特色ある歯科医療専門職教育を行い、2016年度国家試験の合格率は100%であった。今期の求人数は1000件を超え、卒業生の進路は、全員が歯科医院、本学附属病院への就職及び短期大学進学となっている。

## Ⅷ. 法人・大学の管理運営

本学は、前年度に引き続き、限られた収入の中から教育・研究・診療の各活動の活性化に努めるとともに、人材育成、施設設備の整備、業務改善を進めた。

- ・医療保健学部の設置認可に伴い、基本規程である寄附行為、学則、委員会規程の改正、役職者（学部長、学科長）の新設、事務組織の改正（医療保健学部事務室の設置）を行った。

- ・大学ホームページを充実させ、本学の特色について広報活動を活発に行った。大学公式フェイスブック及びLINE@を開設し、日々更新を行いステークホルダーのニーズを的確に把握するように努めている。

- ・環境省が推進しているスーパークールビズ、ウォームビズを本学理事会決定で実施し、夏季及び冬季の省エネルギー意識の高揚に努めた。

- ・人材育成について、職員のSDが大学設置基準で義務化されたことを受けて「大阪歯科大学SD実施方針」を定めた。従来から職員研修は行われてきたが、2016年度より新任者、部課員、管理職別に階層別研修、目的別研修（全体研修・業務研修・FDセミナー出席・派遣研修）、OJT研修、職場外研修の区分でSDを行うこととし、2016年8月9日に管理職研修「厚生補導」と「3つのポリシーに基づく大学の取組の自己点検・評価」をテーマとして実施した。

- ・教職員の人権意識高揚のため、2016年8月31日、10月31日に「どんな行為がハラスメントに当たるか？」をテーマに、本学人権教育専任教員による「人権講演会」を開催した。

[附属資料]

1. 2016年度学生数(2016年5月1日現在) ( )は女子

大学	第1学年	135 (61)	大学院	第1学年	35 (9)
	第2学年	139 (61)		第2学年	23 (6)
	第3学年	136 (69)		第3学年	17 (4)
	第4学年	147 (52)		第4学年	<u>25 (9)</u>
	第5学年	129 (55)			100 (28)
	第6学年	<u>156 (71)</u>			
		842 (369)			

歯科技工士専門学校	1年	11 (4)	専攻科1年	1 (0)
	2年	<u>13 (4)</u>	専攻科2年	<u>4 (1)</u>
		24 (8)		5 (1)

歯科衛生士専門学校	1年	47 (47)
	2年	43 (43)
	3年	<u>42 (42)</u>
		132 (132)

2. 第110回歯科医師国家試験の結果 2017年3月17日合格発表

	(総数)			(新卒)			(既卒)		
	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)	受験者数	合格者数	合格率(%)
本学	160	118	73.8	81	74	91.4	79	44	55.7
全国	3,049	1,983	65.0	1,855	1,426	76.9	1,194	557	46.6

3. 2017年度入学試験状況

学部・研究科	選抜区分	志願者数	合格者数	入学者数
歯学部	推薦	67	49	128
	一般前期	334	63	
	一般後期	102	3	
	センター前期	101	10	
	センター後期	24	3	3
	外国人留学生	0	0	
	編入前期	5	3	
	編入後期	1	0	

学部・研究科	選抜区分	志願者数	合格者数	入学者数
医療保健学部	推薦	34	31	48
	一般前期A	18	15	
	一般前期B	7	4	
	一般後期	4	3	
	口腔保健学科 センター前期	8	3	
	センター後期	3	3	
	社会人	0	0	
	帰国生	0	0	
	特別募集	0	0	
	外国人特別	0	0	
	推薦	4	4	
	一般前期A	5	3	
	一般前期B	4	2	
	一般後期	3	1	
口腔工学科	センター前期	3	1	10
	センター後期	1	1	
	社会人	0	0	
	帰国生	0	0	
	特別募集	1	1	
	外国人特別	1	1	
	大学院	一般一次	15	
一般二次	10	10		
社会人特別	7	7		
外国人留学生特別選抜	5	5		

4. 2015年度会計実査 2016年4月4日(月)

5. 大学・大学院入学式 2016年4月4日(月)午前10時(於:楠葉学舎)

6. 2016年度大学新入生研修

2016年4月4日(月)12時30分(於:楠葉学舎)

4月5日(火)午前9時(於:楠葉学舎)

4月6日(水)午前9時(於:楠葉学舎)

7. 2016年度FDセミナー(本文参照)

8. 2016 年度薬物乱用防止講演会  
2016 年 5 月 11 日 (水) 午前 9 時 (於：楠葉学舎)  
講師：大阪府警・枚方署各 1 名 対象者：第 1 学年
9. 2015 年度監事監査 2016 年 5 月 13 日、16 日 (於：楠葉学舎)
10. 解剖体慰霊祭 2016 年 5 月 20 日 (金) 午後 2 時 (於：四天王寺)
11. 大学父兄会・共済会総会 (於：楠葉学舎)  
2016 年 6 月 25 日 (土) 午後 1 時 父兄出席者数 287 名
12. オープンキャンパス
- 1) 歯学部オープンキャンパス (於：楠葉学舎, 第 2 回のみ天満橋学舎)
- ・第 1 回 2016 年 7 月 18 日 (月) 176 名参加 (うち, 学生 75 名)
  - ・第 2 回 2016 年 8 月 12 日 (金) 82 名参加 (うち, 学生 38 名)
  - ・第 3 回 2016 年 8 月 21 日 (日) 139 名参加 (うち, 学生 82 名)
  - ・第 4 回 2016 年 9 月 25 日 (日) 120 名参加 (うち, 学生 54 名)
- 2) 医療保健学部オープンキャンパス
- ・第 1 回 2016 年 6 月 19 日 (日) 46 名参加 (うち, 学生 34 名)
  - ・第 2 回 2016 年 7 月 23 日 (土)
  - ・第 3 回 2016 年 7 月 24 日 (日) 2 回・3 回合計 37 名参加 (うち, 学生 32 名)
  - ・第 4 回 2016 年 8 月 12 日 (金) 39 名参加 (うち, 学生 19 名)
  - ・第 5 回 2016 年 8 月 21 日 (日) 31 名参加 (うち, 学生 17 名)
  - ・第 6 回 2016 年 9 月 18 日 (日) 29 名参加 (うち, 学生 28 名)
- (於：牧野学舎, 第 4 回：天満橋学舎, 第 5 回：楠葉学舎)
13. 第 48 回全日本歯科学学生総合体育大会 (当番校：東京医科歯科大学歯学部)  
2016 年 8 月 1 日 (月) ～8 月 12 日 (金) 本学は総合第 4 位
14. 2016 年度人権講演会  
2016 年 8 月 31 日 (於：100 周年記念館)、10 月 31 日 ((於：楠葉学舎)  
テーマ「どんな行為がハラスメントに当たるか」講師：人権教育室 李 嘉永講師
15. 第 24 回公開講座
- ・メインテーマ 「めざそう健康長寿：QOL 向上に直結する口腔ケア」
  - ・日程 天満橋講座 2016 年 9 月 3 日 (土)、10 日 (土)  
受講者延べ 250 名 (於：100 周年記念館)

- 枚方講座 2017年2月18日(土)、25日(土)  
 受講者延べ430名(於:楠葉学舎)  
 (時間はいずれも午前10時~正午)
16. 第6学年父兄会 2016年9月19日(月)午後2時(於:100周年記念館)
17. 2016年度地方父兄会(和歌山県)(於:シティイン和歌山)  
 2016年10月16日(日) 保護者9組出席
18. 2016年度大学祭(テーマ:COLORFUL)  
 ・体育祭 2016年10月22日(土)(於:牧野学舎)  
 ・文化祭 2016年10月29日(土)、30日(日)(於:楠葉学舎)
19. 解剖体遺骨返還式 2016年11月4日(金)午後2時(於:楠葉学舎)
20. 実験動物慰霊祭 2016年11月18日(金)12時35分(於:楠葉学舎講堂)
21. 2016年度防災・防火訓練 楠葉学舎 2016年12月2日(金)  
 牧野学舎 2016年12月9日(金)  
 天満橋学舎 2016年12月2日(金)
22. 2016年全学教職員忘年慰労会 2016年12月28日(於:天満橋学舎)
23. 2017年新年互礼会 2017年1月5日(於:楠葉学舎)
24. 2016年度共用試験歯学系CBT並びにOSCE  
 ・CBT 2017年2月21日(火)午前9時30分(於:楠葉学舎)  
 ・OSCE 2017年3月19日(日)午前9時(於:天満橋学舎)
25. 教授退職記念講演会(於:100周年記念館)  
 2017年2月26日(日)(於:100周年記念館)  
 田中昭男主任教授(12:10~), 佐ノ木幸夫主任教授(13:10~)  
 小正裕主任教授(14:10~), 方一如専任教授(15:10~)  
 小出武専任教授(16:10~), 末瀬一彦専任教授(17:10~)
26. 平成28年度卒業式並びに大学院学位認証式  
 2017年3月10日(金)午前10時(於:楠葉学舎)



27. 2016 年度歯科医師臨床研修修了証授与式  
2017 年 3 月 30 日（木）午後 2 時 30 分（於：天満橋学舎）
28. 医療保健学部設置認可（平成 28 年 8 月 31 日付）、2017 年 4 月 1 日牧野学舎に開設  
口腔保健学科 入学定員 70 名  
口腔工学科 入学定員 30 名 ※私大初の 4 年制歯科技工士養成機関  
・医療保健学部開設記念シンポジウム 2016 年 10 月 30 日（日）（於：ホテル日航大阪）  
「近未来の歯科医療のすがた デジタルデンティストリーの世界（CAD/CAM）」107 名出席
29. 歯学部アドミッションポリシーの改正  
【新】（2016 年 6 月 22 日主任教授会承認）  
私たちは、先輩が弛まぬ努力で築いた礎を守りながら、建学の精神に基づき、新時代の歯科医療を担い、人々の口腔の健康を守る能力および適性を十分に有する高潔な人格、高邁な精神を持った次のような人材を求めています。  
・歯科医学を学ぶために十分な基礎学力を有する人  
・社会に貢献し奉仕する使命感と気概を持つ人  
・自ら考え、自ら努力し、かつコミュニケーション能力を有し、協調性のある人  
・専門的知識、技能、態度を習得するために着実に努力する人  
・国際的視野に立って歯科医学の発展と歯科医療を担う熱意のある人  
・歯科医師としての倫理観、世界観などを備える幅広い豊かな人間力と行動力を持っている人
30. アドミッションセンターの設置
31. 大学特待生の採用  
2 年から 6 年の各学年 3 名、計 15 名に対し授業料 100 万円免除
32. 大学学内奨学生選考  
4 名の学生に対して総額 2,950,000 円の奨学金を貸与
33. 牧野学舎クラブハウス竣工（竣工式：2016 年 7 月 4 日）
34. 平成 28 年度 SCRP（スチューデント・クリニシャン・リサーチ・プログラム）日本代表選抜大会において 4 年生・小村晃広さんが臨床部門第 2 位に入賞  
(2016 年 8 月 19 日)  
・研究テーマ「フッ素置換脂肪酸を用いた歯面の化学修飾による着色予防」  
・共同研究者：榮徹也さん、篠崎百合絵さん、島岡毅さん（4 年）

35. 大阪聖母女学院中学校・高等学校と「教育の連携協力に関する協定」を締結  
(2016年9月30日付)
36. 2017年度臨床研修歯科医の募集定員  
単独型研修方式30名、複合型研修方式130名
37. 学位授与  
学位記番号 甲第788号～812号 25名に学位記授与  
学位記番号 乙第1603号～1605号 3名に学位記授与
38. 創立100周年記念館 第36回大阪都市景観建築賞（愛称：大阪まちなみ賞）  
“奨励賞”受賞（2017年1月17日）
39. 2016年度法人理事会・法人評議員会・歯学部主任教授会・歯学部教授会・医療保健学部教授会・大学院研究科会議
- 1) 法人理事会 14回開催  
(2016年4月28日、5月26日(2回)、6月23日、7月28日、8月25日、  
9月29日、10月27日、11月24日、12月28日、2017年1月26日、  
2月23日、3月16日(2回))
  - 2) 法人評議員会 2回開催  
(2016年5月26日、2017年3月16日)
  - 3) 歯学部主任教授会 25回開催  
(2016年4月13日、4月27日、5月11日、6月8日、6月22日、7月20日、  
8月10日、9月7日、9月14日、10月12日、10月26日、11月9日、12月1日、  
12月7日、12月14日、2017年1月11日、1月18日、1月25日、2月2日、  
2月8日、2月9日、2月22日、3月8日、3月22日、3月28日)
  - 4) 歯学部教授会 2回開催  
(2016年4月13日、2017年3月28日)
  - 5) 医療保健学部教授会 10回開催  
(2016年11月22日、12月2日、12月21日、2017年1月18日、2月3日、  
2月15日、2月16日、3月9日、3月15日、3月23日)
  - 6) 大学院研究科会議 14回開催  
(2016年4月27日、5月25日、6月22日、7月27日、8月24日、9月28日、  
10月12日、10月26日、11月22日、12月27日、2017年1月25日、2月8日、  
2月22日、3月22日)
40. 本学関係 褒章・叙勲の受章者
- 1) 褒章 大学24回 城下 功 大分県 藍綬褒章 共3名

2) 叙勲 大学10回 浅野 尚明 滋賀県 瑞宝双光章 共14名

41. 川添理事長・学長 第23回日本歯科医学会総会名誉会頭に就任

(就任期間：2016年7月1日～2017年3月31日)

42. 教職員数 (2017年3月1日現在：353名)

1) 大学 340名

教員数 179名

学長1名、主任教授26名、専任教授5名、准教授29名、講師65名、  
助教52名、病院教授1名

職員数 161名

事務・技術77名、医療83名、労務1名

2) 歯科技工士専門学校 6名

教員4名、事務2名

3) 歯科衛生士専門学校 7名

教員6名、事務1名

43. 人事

1. 法人関係

1) 理事就任 田中 昌博 (教学兼人事担当)

2) 評議員就任 有田 憲司 共2名

3) 評議員退任 中谷 譲二 共2名

2. 名誉教授称号授与 覚道 健治

3. 退職

1) 定年退職 口腔病理学講座 主任教授 田中 昭男 共13名

2) 依願退職 有歯補綴咬合学講座 助教 大河 貴久 共18名

3) 再雇用契約満了退職 教務学生課 事務職員 原 美津恵 共4名

4. 昇任

1) 定年退職に伴う教授特別昇任 口腔治療学講座 准教授 吉田 匡宏

2) 准教授 解剖学講座 講師 戸田 伊紀 共6名

3) 講師 歯科法医学室 助教 大草 亘孝 共5名

4) 職員 経理課 課長補佐 田中 敬子 共5名

5. 任用

1) 主任教授 口腔外科学第二講座 博士(歯学) 中嶋 正博

2) 准教授 口腔衛生学講座 博士(歯学) 片岡 宏介

3) 講師 数学教室 博士(数学) 森 淳秀 共3名

4) 助教 歯科保存学講座 博士(歯学) 黄地 智子 共10名

- 5) 大学院教員  
 大学院教授 竹村 明道 共 22 名、大学院准教授 隈部 俊二 共 21 名  
 大学院講師 戸田 伊紀 共 25 名、大学院助教 上田 甲寅 共 21 名
- 6) 看護師 附属病院 西口 智子 共 6 名
- 7) 任期付職員の正規職員登用 専門学校事務室 室長 溝本 幸三 共 5 名
- 8) 任期付職員新規採用 教務学生課 課長補佐 宮本 忠之 共 11 名
6. 任期制教員契約更新 人権教育室 専任教授 檜 則章 共 8 名
7. リサーチ・アシスタント採用 口腔外科学第二 岡本 知子 共 3 名
8. 所属異動 総務課人権担当 木下誠一郎 共 13 名
9. 兼務 医療保健学部設置準備室 法人事務局長 齊藤 広志 共 9 名
10. 定年退職後再雇用 教務学生課 事務職員 原 美津恵 共 4 名
11. 定年退職後再々雇用 医事課 事務職員 森田 恭生 共 3 名
12. 委嘱
- 1) 大学役職者
- |                       |       |
|-----------------------|-------|
| 副学長・総務部長              | 小正 裕  |
| 副学長・教務部長・アドミッションセンター長 | 田中 昭男 |
| 学生部長                  | 田中 昌博 |
| 図書館長                  | 佐ノ木幸夫 |
| 附属病院病院長               | 森田 章介 |
| 大学院研究科科長              | 西川 泰央 |
| 中央歯学研究所所長             | 有田 憲司 |
| 教育情報センター所長            | 藤原 眞一 |
| 国際交流部長                | 岡崎 定司 |
| 附属病院副病院長              | 山本 一世 |
| 附属病院副病院長              | 松本 尚之 |
- 2) 専門学校長
- |             |       |
|-------------|-------|
| 歯科技工士専門学校校長 | 小正 裕  |
| 歯科衛生士専門学校校長 | 田中 昭男 |
- 3) 特任教授 歯科医学教育開発室 農学修士 松本 秀範
- 4) 名誉客員教授 大阪歯科大学附属病院 元病院教授 北條 博一
- 5) 客員教授 広島大学歯学部 名誉教授 二階 宏昌 共 8 名
- 6) 客員准教授 大阪歯科大学 元准教授 好川 正孝
- 7) Honorary Visiting Professor ウルグアイ大学大学院 教授 Susumu Nisizaki
- 8) Visiting Professor  
 韓国慶熙大学校歯科大学 主任教授 Young-Guk Park 共 8 名
- 9) 2016 年度講師 (非常勤) 解剖学講座 清水 孝治 共 374 名

2016 年度大学院講師（非常勤） 解剖学 江原 大輔 共 41 名

(2016 年 4 月 1 日付)

- 10) 臨床教授 大阪歯科大学 元主任教授 覚道 健治 共 3 名
- 11) 医療嘱託 13 名
- 12) 病院医員 64 名
- 13) 臨床准教授等 64 名
- 14) ティーチング・アシスタント 有歯補綴咬合学 池内 慶介 共 18 名
- 15) ポストドクトラルフェロー 口腔外科学第二 渡辺 昌広 共 2 名
- 16) 学生相談室カウンセラー 臨床心理士 辻野 達也 共 3 名
- 17) 医務室嘱託医師 大阪大学医学部 助教 (医師) 木田 博 共 2 名
- 18) 各種委員会委員長

(1) 大学関係

総務部委員会委員長	小正 裕
教務部委員会委員長	田中 昭男
第 5 学年・第 6 学年教務部委員会委員長	田中 昭男
既卒者クラス教務部委員会委員長	田中 昭男
廃棄物処理委員会委員長	小正 裕
図書館運営委員会委員長	佐ノ木幸夫
図書資料選択委員会委員長	佐ノ木幸夫
学生部委員会委員長	田中 昌博
学内食堂管理運営委員会委員長	田中 昌博
教育情報センター管理運営委員会委員長	藤原 眞一
健康管理委員会委員長	森田 章介
楠葉学舎衛生委員会委員長	大久保 直
天満橋附属病院衛生委員会委員長	清水谷公成
国際交流部委員会委員長	岡崎 定司
学術研究奨励助成金交付審査委員会委員長	田中 昭男
兼共同研究助成審査委員会委員長	田中 昭男
カリキュラム委員会委員長	田中 昭男
共用歯学 C B T 委員会委員長	西川 泰央
共用歯学 O S C E 実行委員会委員長	山本 一世
ブラッシュアップ委員会委員長	今井 弘一
F D 委員会委員長	田中 昭男
入試委員会委員長	田中 昭男
大学入試センター試験実施委員会委員長	田中 昭男
公開講座委員会委員長	今井 弘一
医の倫理委員会委員長	森田 章介

臨床研究利益相反検討委員会委員長	森田 章介
組換えDNA実験安全委員会委員長	清水谷公成
動物実験委員会委員長	竹村 明道
バイオセーフティー委員会委員長	梅田 誠
ハラスメント防止委員会委員長	川添 堯彬
知的財産委員会委員長	田中 昌博
教員評価委員会委員長	川添 堯彬
大学院委員会委員長	西川 泰央
中央歯学研究所委員会委員長	有田 憲司
学生基礎実習運営連絡検討委員会委員長	田中 昭男
研究倫理委員会委員長	小正 裕

(2) 法人関係

財務企画委員会委員長	川添 堯彬
財務企画委員会病院の運営に関する事項部会部会長	小正 裕
財務企画委員会牧野学舎将来計画作業部会部会長	下村錢三郎
財務企画委員会給与部会部会長	三谷 卓
財務企画委員会経営部会部会長	下村錢三郎
退職資金管理運営委員会委員長	三谷 卓
業者登録選考委員会委員長	下村錢三郎
学術研究奨励基金管理運営委員会委員長	下村錢三郎
環境管理委員会委員長	小正 裕
枚方資料センター管理運営委員会委員長	小正 裕
予算委員会委員長	下村錢三郎
人事委員会委員長	三谷 卓
自己点検・評価委員会委員長	川添 堯彬
ODUウェルネス・ホール管理運営委員会委員長	小正 裕
広報委員会委員長	川添 堯彬
人権啓発推進委員会委員長	川添 堯彬
個人情報保護委員会委員長	川添 堯彬
個人情報保護委員会大学部門委員会委員長	田中 昭男
個人情報保護委員会病院部門委員会委員長	森田 章介
個人情報保護委員会事務部門委員会委員長	齊藤 広志
大阪歯科大学附属病院財務改善検討委員会委員長	下村錢三郎
資産運用検討委員会委員長	下村錢三郎
学校法人大阪歯科大学利益相反検討委員会委員長	小正 裕
学校法人大阪歯科大学省エネルギー推進委員会委員長	下村錢三郎
附属病院組織改革委員会委員長	川添 堯彬

19) 学年指導教授

1年・2年 藤原 眞一、王 宝禮 3年・4年 三宅 達郎、今井 弘一  
5年・6年 前田 博史、梅田 誠

20) 2016年度学友会会長 主任教授 松本 尚之

44. 学外活動

1) 教授海外視察 化学教室 主任教授 藤原 眞一

2) 教員海外研修 口腔外科学第一講座 助教 辻 要 共2件

3) 教員海外出張 細菌学講座 講師 山根 一芳 共75件

4) 共同研究員受入

南方医科大学口腔医学院・研究員 黄 安祺

受入講座：口腔インプラント学講座

期間：2016年7月1日～2017年3月31日 共4件

5) 国際交流

(1) 中国・山西医科大学と学生交流協定を締結 (2016年8月16日付)

(2) 中国5大学との共同研究

・派遣

四川大学華西口腔医学院

歯科保存学講座 山本主任教授、吉川准教授、岩田講師

(期間：2016年10月9日～14日、山本教授は10日まで)

(3) 海外協定校との交流

・受入

南方医科大学口腔医学院 学生5名、教員1名

北京大学口腔医学院 学生5名、教員1名

台北医学大学口腔医学院 学生3名、教員2名

山西医科大学口腔医学院 学生4名、教員1名

(以上 期間：2016年7月31日～8月6日、台北の教員は8月3日まで)

・派遣

四川大学華西口腔医学院インターナショナルサマーキャンプ 学生2名 (5年)

引率教員：本田准教授 (期間：2016年7月3日～15日)

北京大学口腔医学院 学生3名 (2年1名、3年2名)

引率教員：渋谷講師 (期間：2016年7月23日～29日)

台北医学大学口腔医学院 学生2名 (2年1名、4年1名)

引率教員：岸本講師 (期間：2016年7月23日～29日)

シドニー大学歯学部 学生5名 (3年4名、4年1名)

引率教員：山本講師 (期間：2016年8月13日～22日)

コロンビア大学歯学部 学生7名 (5年)

引率教員：西浦准教授（期間：2017年3月11日～21日）

- (4) コロンビア大学歯学部 100周年インプラント CE セミナーに川添理事長・学長  
以下本学関係者 28名参加（期間：2016年7月11日～14日）

#### 45. 補助金・助成金

- 1) 2016年度大阪歯科大学学術研究奨励助成金交付（11件）2,500,000円
- 2) 2016年度大阪歯科大学学術研究奨励資金 4,400,000円
  - ・研究課題「iPS細胞を用いた広域顎口腔組織欠損再生に向けた基礎的研究」  
3,900,000円（内1,400,000円は、日本私立学校振興・共済事業団より平成28年度学術研究振興資金として交付）
  - ・研究課題「新規骨形成ペプチドの機能解析に基づく歯周組織再生創薬の挑戦」  
500,000円（日本私立学校振興・共済事業団より平成28年度学術研究振興資金（若手研究者奨励金）として交付）
- 3) 平成28年度科学研究費補助金交付（文部科学省）（本文参照）
- 4) 平成28年度私立大学等経常費補助金交付額 385,299,000円  
（内32,497,000円は私立大学等改革総合支援事業）
- 5) 平成28年度臨床研修費等補助金交付額 83,506,000円
- 6) 国際交流助成  
解剖学講座 講師 上村 守 共13件に対し2,394,490円の助成
- 7) 寄贈  
諏訪文彦 名誉教授 教育研究用として1,000,000円 共7件

#### 46. 諸規程

- 1) 大阪歯科大学大学院学則（一部改正）
- 2) 大阪歯科大学学費等納付金規程（一部改正）
- 3) 学校法人大阪歯科大学旅費規程（一部改正）
- 4) 学校法人大阪歯科大学旅費規程内規（一部改正）
- 5) 教職員定年規程（一部改正）（以上 平成28年4月1日付）
- 6) 学校法人大阪歯科大学事務組織及び事務分掌規程（一部改正）
- 7) 学校法人大阪歯科大学事務組織表（一部改正）
- 8) 大阪歯科大学における科学研究費助成事業（科学研究費補助金・学術研究助成基金助成金）直接経費の使用取決（一部改正）  
（以上 平成28年4月28日付）
- 9) 学校法人大阪歯科大学管理運営規則（一部改正）
- 10) 学校法人大阪歯科大学事務組織及び事務分掌規程（一部改正）
- 11) 学校法人大阪歯科大学事務組織表（一部改正）  
（以上 平成28年7月28日付）



- 12) 学校法人大阪歯科大学公益通報に関する規程（施行）  
(平成 28 年 8 月 25 日付)
- 13) 学校法人大阪歯科大学寄附行為（一部改正）  
(平成 28 年 8 月 31 日付)
- 14) 学校法人大阪歯科大学経理規程（一部改正）  
(平成 28 年 10 月 27 日付)
- 15) 学校法人大阪歯科大学予算執行規程（一部改正）
- 16) 物件の管理規程（一部改正）
- 17) 物件の登録及び管理の取扱いに関する細則（一部改正）
- 18) 個人情報保護委員会病院部門委員会規程（一部改正）  
(以上 平成 28 年 11 月 24 日付)
- 19) 大阪歯科大学奨学金貸与規程（一部改正）  
(平成 29 年 1 月 26 日付)
- 20) 大学院学則「優れた研究業績を上げた者」に関する申し合わせ（一部改正）  
(平成 29 年 2 月 22 日付)
- 21) 大阪歯科大学における研究活動上の不正行為の防止及び対応に関する規程  
(一部改正)
- 22) 大阪歯科大学における研究データ等の保管等に関する申し合わせ（施行）  
(以上 平成 29 年 2 月 23 日付)